

ゆのき

二 柚木みちよし議員 学童保育、学校図書館について質問 二

2月28日(火) 柚木みちよし議員は、学童保育の拡大や学校図書館の充実について質問しました(予算委員会第4分科会)。他にも幼稚園・保育園の一元化や知的障害児の虐待についても質問しました。

予算委員会第4分科会にて質問する
柚木みちよし議員(06年2月28日)



小泉内閣の「三位一体改革」では、義務教育費の国庫負担が減り、児童扶養手当の国庫負担も減るなど子どもの予算にしろよせがいています。柚木みちよし議員は、以前小泉首相も取り上げた「米百俵の精神」(※)に立ち返って、人材育成のために教育と保育に力を入れるべきと主張しました。

学童保育については、岡山県の学童保育の例をとり上げて、大規模化した場合の補助の拡充や、保育指導員の待遇の改善を厚生労働省に求めました。柚木議員は学童保育の充実について継続して取り組む考えです。

学校での読書については、朝の読書活動の広がりを評価する一方、学校図書館の書籍が少ない(学校図書館標準の達成率が小学校で36%、中学校で30%)ので、学校図書館の充実を求めました。幼稚園・保育園の一元化については一定の評価はしつつも、政府案の「一体化」では幼稚園・保育園のほかにもうひとつ新たな「認定こども園」をつくるものであって全く一体化になっておらず、国民にとって大変わかりにくい仕組みである点を指摘。さらに、千葉県浦安市の養護学級であった、知的障害をもつ女子児童の性的虐待事件を取り上げて、再発の防止にむけた取り組みや、検察官への研修、被害者である障害児への裁判での配慮を求めました。

※ 米百俵の精神 戊辰戦争で幕府側について敗れた長岡藩(現在の新潟県長岡市)は、石高が大幅に減らされ、長岡も焼け野原になるなど大きな損害を受けた。長岡藩の窮状を知った三根山藩から米百俵が贈られてきたが、貧困にあえぐ藩士の反対を押し切って、長岡藩大参事小林虎三郎は「国漢学校」の充実にあてて、近代教育の礎をつくった。「食えないからこそ、学校を建て、人物を養成するのだ」という虎三郎の教育第一主義をいう。

通常定価1部100円(消費税込み) 年間購読料3,000円(送料含む)

The Democratic Party of Japan

号 外

2006年3月1日
民主党プレス民主編集部
〒100-1014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988(代)

平成9年4月25日 第3種郵便物認可

民主党岡山県第4区総支部
〒710-0833
岡山県倉敷市西中新田548
電話 086-430-2355
FAX 086-430-2266
電子メール yunoki@yuzu.jp
ホームページ <http://www.yuzu.jp/>

民主
PRESS MINSHU